

南湖ハウス通信



8月の活動報告

2023年 vol.25 9月号

今年の夏はコロナも明けて、4年ぶりの浜降祭で盛り上がりました。ただ酷暑が辛かったですね〜(□□;)

南湖ハウスも3回目の夏を迎え、2つの新しい活動にチャレンジしました。

一つ目は、「フレンドホーム」(児童養護施設で生活している子どもを自宅に呼び、1週間ほど共に暮らして実家以外の生活を知ってもらう活動)みんなで食事を作ったり、買い物、花火、海水浴にも行って楽しい時間を過ごしました(*o*)

二つ目は、「戦争を考えるイベント」平和を考える茅ヶ崎市民の会の方と共催することができました。参加者は、10代から70代の様々な年代の人で、紙芝居を読んでいただいた後、車座で自由にお話できたことは新鮮で楽しかったです。市議さんにも参加していただけて、市民と政治の距離が近づいた気がしました。

また、赤ちゃんの発達相談を2回行いました。ママさんから「ただいま〜って言いたくなる感じ」と言われてほっこりしています p(˘˘)q

【詳細は裏面に】

①9/23(土)大人の勉強会 (早稲田里親研究会) フランスの家庭福祉から日本の福祉と教育について学びます。(6ヶ月参加費無料)

日時:9月23日(土) 13:00~15:00

申し込みフォーム ⇒ ⇒ ⇒
(後でZOOMのURLが送られます)



ゲストの安發(あわ)明子さんは、日本とフランスでソーシャルワークをされ、最近著書を出版され、今や大人気の講師です。

『フランスの子どもの育ちと家族』
かもがわ出版 2023年刊

②赤ちゃんの発達サポート教室

秋は、9月22日、10月27日、
11月24日、12月22日の4回
10:30~12:30。全て第4金曜日
です。詳しくはインスタ「つきの
わ 宮崎さやか」で検索を。



③ 9/16(土)は「おそうじ相談会」

開催時間 14時~15時

参加人数 Max10人

参加費 500円(お茶代込み)

講師 星ゆうかさん



お掃除のポイントをプロから学びます!

水回りやサッシまわり、9月は12月よりお掃除に適しているそうです。重曹(アルカリ)とクエン酸(酸性)を意識して使い分けるのがコツのようですよ。終わったらお茶しましょう。

④手芸の日は随時決めたいと思います。

9月の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	1	2
	OPEN		OPEN		OPEN	
3	4	5	6	7	8	9
	OPEN		OPEN		OPEN	
10	11	12	13	14	15	16
	OPEN		OPEN		OPEN	③
17	18	19	20	21	22	23
	祝休		OPEN		②	①
24	25	26	27	28	29	30
	OPEN		OPEN		OPEN	

ふらっと南湖 (団体名)

TEL:0467-82-7155 (松本)

メール: nangohouse@gmail.com

場所: 茅ヶ崎南湖4-2-18東棟

月水金の10~16時が開所時間です。これ以外の日をご希望の方はご一報ください。



ホームページ

フレンドホームの詳細

今回のフレンドホーム(ホームステイ)は、茅ヶ崎市内の児童養護施設の子ども二人に来てもらい、南湖ハウスに6泊7日泊ってもらいました。彼らのおもてなしは、フレンドホームの一代目のスタッフのタダオ君兄弟がいろいろ手伝ってくれました。16日には女子大学生も来て、ファミリーホームの日も重なり、いろいろな出会いと経験ができたと思います。

<男の子のつぶやき>

初日の買い物の時、「物を買う基準が安いこと」と言っていた彼、最後の買い物の時に「安いこと以外にお金を使う基準ってあるんだ!」と言っていたことが印象に残りました。子どもの変化はおもしろいですね。(*^-^*)

フレンドホームにご興味のある方は南湖ハウスにお問い合わせください。

安發(あわ)明子さんの紹介

9/23の大人の勉強会のゲストの安發(あわ)明子さんは、日本で生活保護課の仕事をした経験とフランスでの出産と子育て支援を受けた経験などをまとめて著書を書かれて発表したばかり。今、引っ張りだこのゲストです。

日本では、虐待件数が20万件を超え、若者の自殺率も高い状況です。フランスも30年前は日本と変わらない状況だったそうですが変わったのは何故か!一緒に考えましょう。



←フランスの親子をまるごと
支える方法 YouTube

はじめまして!
ワタシは南湖ハウスキャラ
クターのアドボです。



ぼくは、ケイトだよ!
ひたひたに言わせて アドボケイト、
ぼくたちは小さな声を丁寧に聴いて、
マイクのように大きめて伝えるよ!

戦争イベント詳細

今回、南湖ハウスでは初めて「戦争を考える」イベントを行いました。戦前生まれの方が減り、戦争の話を直接聴く機会も無くなる中で「戦争の伝承」が難しくなりつつあります。

「新しい戦前になるのでは」との懸念をもつ人も増え、一人一人が空気(同調圧力)に負けない意識を持つ必要がありそうです。

今回、市議会議員の皆さんに開催のご案内をしたところ、山口順平議員が来てくださいました。その他お返事をいただいた方は、藤村ゆかり、木山こうじ、滝口友美、吉川ひかり、藤本恵祐(敬称略)の皆さんでした。「とても意義深い活動だと思います」という励ましもいただきました。他の議員さんも次回、お待ちしております!

*以下は「車座ミーティング」と「アンケート」でいただいたご意見の一部です。

- ・多様な意見が言える場は素晴らしいと思った。
- ・特に現状に危機感を持っている若い人が居ることが印象に残った。
- ・円座になって意見交換できたのが良かった。
- ・「戦争」という言葉より「平和」を語り合う方がいいのでは?
- ・私はこれまで戦争について、全く興味がなかったし、話題にものぼった経験無かった。今後は機会があったらまた聞きたい。
- ・飲み物だけでなく、お菓子もほしかった。
- ・改めて、紙芝居の良さを知った。
- ・中学生や高校生の参加を増やせたらいい。
- ・このようないろんな人と意見交換できる場を自分たちの地域でも持ちたい。

*まとめ

「平和ボケ」と言われる日本人ですが、これからは「平和は自分たちでつくる、守る」という意識が必要だと思いました。「平和」への想いは、日ごろの努力が必要であるということが、日本国憲法第12条に書かれています。

「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。」

憲法改正の議論をする前に大人も子どもも「憲法」をまず、知る必要がありそうですね!

(*^o^*)